

受 理 番 号	陳情第 5 号	受 理 年 月 日	平成 2 8 年 3 月 1 4 日
件 名	薩摩川内市に国を中心とした総合研究所の設立に関する陳情書		
陳 情 者	北鹿児島電源立地地域総合研究所立地推進協議会 会長 上園 一紀		
要 旨			
<p>私達、北鹿児島電源立地地域総合研究所立地推進協議会は（以下より「協議会」と言う。）平成7年度前後より（別紙①）出水市野田町 浦崎忠男氏（元出水市議会議員）をはじめ協議会の皆さんと会長を中心に民間人（国民）ができる、政府に対する陳情書運動（広く思いの根付く理想の総合研究所設立を原発立地地域に）を国のモデル事業として、市・県・各議会、国会議員に陳情し続けて来ました。また鹿児島県議会では陳情第3027号（平成24年11月27日受理）と陳情第3003号（平成27年5月20日受理）で今まで陳情書を合計5回県に提出しております。（別紙②）主な経過は別紙①の通りであります。</p> <p>私達の陳情書をご理解頂きました人物は福岡県八女郡広川町 自民党役員山下一弘社長と自民党元幹事長 福岡県選挙区 古賀誠代議士でありました。（別紙③）</p> <p>平成24年12月 国政総選挙 自民党政権公約に私達の陳情書を採用して頂きました。（別紙④）次の通りであります。</p> <p>「原発立地地域振興研究センター」（仮称）を設立します。と記載してあります。</p> <p>202 原子力立地地域における地域振興に関する研究体制の整備</p> <p>原子力立地地域の経済が原子力発電所等に雇用の面を含め経済的に大きく依存している状況に鑑み、今後のわが国のエネルギー政策における原子力の位置付けが同地域の将来に大きな影響を与えることは間違いありません。地域の「あり方」を早期に模索し、あらゆるエネルギー政策にも対応できるよう地域振興のあり方を検討する必要があります。そこで、今後の「あるべき原発立地」や「地域振興のあり方」等を模索するため、産学官の連携の下、研究体制を整備する一環として、「原発立地地域振興研究センター」（仮称）を設立します。</p> <p>以上のような事実、経過については平成24年第3回薩摩川内市議会会議録（定例会）平成24年8月17日（開会）平成24年9月27日（閉会）にて岩切市長をはじめ市議会員の皆さんに大坪前市議が本会議にて報告の通りであります。（別紙⑤）</p> <p>私、協議会会長とお二人（山下一弘氏、古賀誠氏）との40年以上お互いの信頼関係に立った事と、国を思う心でありました。</p> <p>また、私達、協議会会員の皆さんより、広く思いの根付く理想の総合研究所設立と末永く維持して国、地方が豊かに農業をはじめ仕事が、産業が繁栄していく為の文書、手紙を、皆様よりご指導も頂いております。今日までに協議会と私達に東郷町を中心</p>			

に色々な妨害もありましたが以上のような事も、私の励みになっており、今後も3人と協議会の同意が必要であります。

今までに市や市議会、川内商工会議所などより賛同は頂けませんでした。薩摩川内市役所より「薩企第1423号、平成25年11月25日」日付にて以下（別紙⑥）の文書を頂きまして、また、私たちの陳情書に対して（薩摩川内市議会企画経済委員会）以下のように結果報告（平成25年9月24日）をされております。（別紙⑦）

付託事件等審査結果報告（平成25年9月24日）

薩摩川内市議会企画経済委員会

委員長 佃 昌樹

## II 継続審査の付託事件

### 1 付託事件

陳情第4号 電源立地地域の薩摩川内市に総合研究所立地についての経過の現状と今後についての陳情書

### 2 付託の時期

平成25年第2回薩摩川内市議会定例会（6月25日）

### 3 委員会の開催日

6月28日、9月13日（2日間）

### 4 審査の経過及び結論

本陳情は、慎重に審査を行った結果、「自由民主党の政権公約の中に、原子力立地地域における地域振興に関する研究体制の整備が掲載されたことは、これまでの陳情者の努力として理解し、その整備を望むものであるが、陳情内容が整理されておらず、趣旨をつかみにくいことから、これを意見書として国県に提出するのは難しい」という反対討論が述べられ、採決の結果、起立者なしにより不採択とすべきものと決定した。

以上のようなことが記載されております。

つきましては議員の皆様は自民党政権公約の陳情書を、委員会、全員議会で解かって頂くために参考人として私に説明させて下さい。

今までの役所（議会）においては不満な点もありますが、私達の趣旨をすべて理解して頂くために陳情書を再提出しました。

総合研究所の研究開発の在り方は、別紙に他多数あり経済発展の動因となる技術革新をすることも、この研究所の基本理念の一つです。中身については別紙⑧を中心に考えています。（別紙⑧）

薩摩川内市議会添付資料別紙確認書も4/4として添付してあります。（枚数）

国策で原発のある薩摩川内市に総合研究所を設立する件につきましては、前向きに進んでおりますが、薩摩川内市議会皆様のご理解が必要です。総合研究所設立のために参考人として呼んで頂き、広い地域に根付く思いの理想となる総合研究所（設立）

ができますようご説明をさせていただきます。（添付資料有り別紙①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧）

< 案件 >

- 1 薩摩川内市に国を中心とした総合研究所を設立する陳情書の趣旨についてご賛同頂くこと。（東郷町県果樹試験場を中心としたところ）
- 2 今まで県・市・各議会・国会議員・自民党に陳情してきた文章を基本として（考え方）設立に向けて県・自民党政府に広く思いの根付く（地方）日本再生モデルとして地域住民（市民）が自分達の為、生活向上を目的として参加くださる総合研究所の設立であること。
- 3 今後、薩摩川内市議会と私達協議会が共同で県、国に設立運動を進めること。
- 4 参考人招致をお願い致します。

以上の件、国家プロジェクトの為、添付書類を含めて内容検討を宜しくお願い致します。

薩摩川内市議会（議長 上野一誠）に陳情書提出（別紙）枚数中身確認書

添付（付属）資料別紙①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧（陳情書）

別紙① 総合経過書 計41枚

別紙② 市、県議会、国会議員、谷垣総裁、林農林水産大臣の陳情書 計71枚

別紙③ 山下一弘（自民党役員）、古賀誠代議士への陳情書 計82枚

別紙④ 自民党政権公約 計11枚

別紙⑤ 平成24年8月大坪前市議、本会議会議録、他 計5枚

別紙⑥ 薩摩川内市より（薩企第1423号、平成25年11月25日）、川内商工会議所議事録 計23枚

別紙⑦ 陳情書 薩摩川内市議会、否決（不採択） 計2枚

別紙⑧ 研究の在り方（中身）と考え方 計18枚

（添付資料省略）